

## 平成24年度明蓬館高等学校学校評価について

国から構造改革特別区域計画の認定を受け川崎町が認可した明蓬館高等学校について学校評価を行いましたので公表いたします。

### ●根拠法令

構造改革特別区域法12条5項

特区の認定を受けた地方公共団体は学校設置会社の設置する学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、毎年度、評価を行わなければならない。

#### 評価基準

1＝優れている    2＝良い    3＝おおむね満足    4＝一部要改善    5＝要改善

評価項目	評価における観点	評価結果	評価コメント
学校運営体制	教職員の資質・能力の育成	3	私立高校に10年勤めた先生や、教員歴30年の川崎町出身の先生を採用。教職員経験が豊富であるため進路主任や教務主任を担当してもらい、生徒に関わっている。教職員の能力育成に関しては、今後積極的に外部の研修会へも参加することが望ましい。
	生徒指導の状況	2	生徒それぞれの学習意欲を高めるための工夫がされており、きめ細やかな指導ができています。進路指導についても充実が図られることが期待される。
	地域との連携	2	スクーリングの際の食事を毎回地元の方々につくっていただき、体験学習についても、地元の農林業を行っている方や、技術を持った方が指導してくれ協力してもらっている。

施設・設備の状況	教室等の設置状況	2	教室の機能・環境に問題なし。ネット授業も問題なく行われている。今年度よりバンド部開設となったため各備品購入をし、設備を整えている。
学習指導の状況	授業の状況	2	戸山原古墳で歴史文化の授業を開催し、地元の歴史に触れた。川崎町で行われたパン博にも総合的学習として参加し、レポートの提出をさせたりと体験的な授業を多く行っている。
	適切な面接指導の実施	2	スクーリングにて、世界記憶遺産に登録された山本作兵衛の炭鉱画の見学と学習を行い、農ある暮らし体験として、薪割りや火おこし、羽釜でお米炊きなど日頃の生活ではできない体験を行っている。
	問題を抱える生徒への対応	1	保護者、学校職員、外部の方でチームを作り、週1回や、月1回のペースでケース会議を繰り返し行い、生徒への指導を行っていった。
学校設置会社の経営状況	学校経営の安定性	2	年度末には生徒が313名と、開校当初に比べるとかなり生徒数が増加している。今後も学校側より広報活動を行ったり、アプローチをしていくことが大切である。財務内容については、改善傾向だが、安定した学校経営のために努力が期待される。
	学校設置による経済的効果	2	施設使用料、スクーリング宿泊費、交通費、飲食費等で経済波及効果があがっている。地域の惣菜・農産物加工グループとのコラボも生まれた。また、教職員を雇用するなど、地域における雇用創出にも貢献している。
	学校設置による社会的効果	2	地元の不登校生徒及び通常の学校に適応しにくい生徒への対応を特区計画にあげているが、一人ひとりのニーズに対応した教育ができています。また、学校と地域との活動が増えている。